

# ぐるっと13市町村

標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町、根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町

## 大津波想定し高台に避難

### 白糠高、住民と合同訓練



守ろう釧根、  
備えよ常に

【白糠】いざという時に備えようと、白糠高校（佐野住夫校長）は14日、橋北3区町内会の地域住民と合同避難訓練を実施した。約80人が参加し、避難経路を改めて確認しながら、安全な高台に速やかに避難した。（佐々木美香）

この日は授業中に震度6強の地震が発生し、大津波警報が発令された想定で訓練を実施。教員が誘導し、

険しい坂道を駆け上がる生徒ら

生徒たちは地域住民と共に学校から走って標高33・5メートルの避難所「白糠学園裏山」に避難した。

避難指示から避難場所へ全員そろった時間は、昨年より約4分早い7分51秒だった。佐野校長は「できるだけ早く避難すること

はすごく大事」と素早い行動の重要性を強調しながら、「特別に動くのではなく、普通に避難行動や無事を確保できるように。お年寄りや地域の人も助けてあ

げられるように高校生としての役割も考えよう」と呼び掛けた。

生徒会長の佐々木葉月さん（3年）は「坂道がすごく厳しかったが、津波が来

ると思ったらペースを落とせないと思い最後まで走り切った。地域の方々と一緒に避難するので、周りに目を配って一緒に逃げたいと思う」と振り返った。

避難完了後、町職員が避難場所に設置してあるコンテナ内の備蓄品や簡易トイレなどを紹介し、発電機の使い方も学んだ。